

広報

みはら

あなたの暮らしのそばに

踊りながら太鼓や鉦(かね)を打ち鳴らし、力強く
舞い踊る無形民俗文化財「ちんこんかん」。今月5日
(土)からは「保存と継承」をテーマにした文化財
展(6ページ掲載)も開催されます(8月16日 無
形民俗文化財「ちんこんかん」 大須賀神社)

守り伝える
若い力

特集 防ごう高齢者虐待 地域や家庭で気遣いを……2

- 市政フラッシュ……………4
- マイナンバー制度が始まります②……………5
- 市職員を募集します……………9
- イベント情報……………10
- 写真で振り返る第40回三原やっさ祭り…12

9

平成27(2015)年
第126号



防ごう高齢者虐待

地域や家庭で気遣いを

高齢化が進むにつれ、高齢者への虐待が社会問題となっています。

平成18年4月、高齢者への虐待防止と早期発見・対応のため、高齢者や介護者を見守り、支え合うことをめざした「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）」が施行されました。

市は、市内5カ所に設置している高齢者相談センターを窓口とし、高齢者虐待への対応を行っています。また、関係団体で構成する「三原市高齢者虐待防止ネットワーク協議会」を設置し、高齢者を虐待から守る活動をしています。

人ごとではない

高齢者虐待

平成26年度、市内の高齢者相談センターには、123件（疑いを含む）の高齢者虐待に関する相談がありました。年度によって増減はありますが、近年は年間100件を超える高い水準で推移しています。

高齢者虐待は、特定の人や家族に起こるのではなく、誰にでも起こる可能性があります。虐待は家庭という外から見えにくい場所です。起るため、高齢者やその家族が地域の中で孤立し、周りに気付かれないまま、深刻な状況に陥ることもあります。

高齢者虐待とは？

高齢者虐待には主に次のようなものがあります。

● 身体的虐待

たたく・蹴るなどの暴力を振るう、動けないように縛るなど

● 心理的虐待

怒鳴る、ののしる、悪口を言う、無視するなど

● 経済的虐待

必要なお金を渡さない、本人の不動産・年金・預金などを勝手に使うなど

● 介護の放棄・放任

介護や世話をしない、食事を与えない、

病院を受診させず病状を悪化させる、入浴させないなど

● 性的虐待

人前でおむつを交換する、下着のままに放置する、わいせつな行為をするなど

市内で発生が報告されている高齢者虐待の半数以上が「身体的虐待」、2割強が「心理的虐待」です（図1）。介護や世話をせず、放っておくのも虐待です。



図1 市内で相談が寄せられた
高齢者虐待の種類（平成26年度）

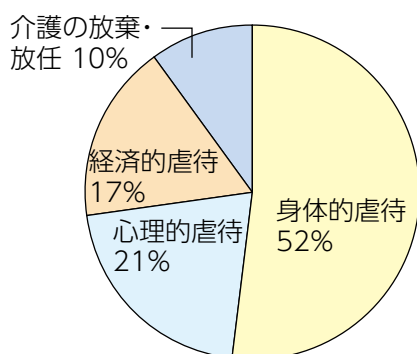
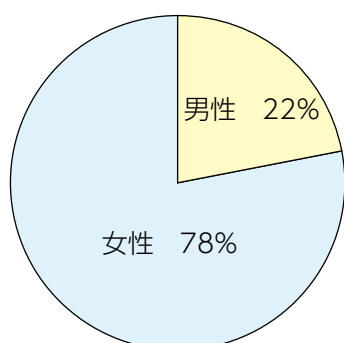


図2 市内で相談が寄せられた虐待を受けた人の性別（平成26年度）



夫婦だけの世帯、親と未婚の子だけの世帯の増加により、夫や息子など男性が介護者になるケースが増えています。男性介護者は、家事に不慣れで、離職や転職により経済的な面で課題を抱え、心身ともに孤立した状態で介護生活を送っていることも多いです。こうした状況を一因とし、虐待を受けている人の約8割を女性が占め（図2）、息子が虐待を与えてしまう事例も増えています。

最近の傾向は？

問 高齢者福祉課

☎ 0848・676055

●問い合わせ先

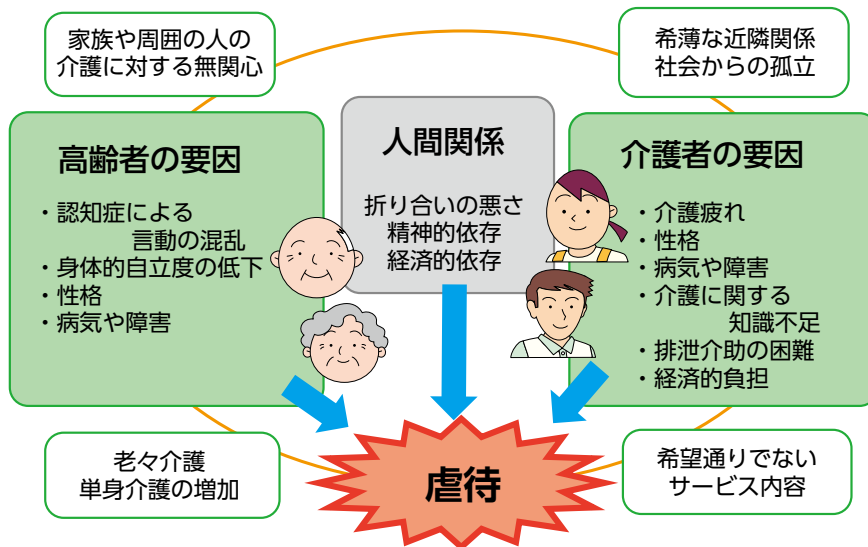
どうして虐待が起こるの？

高齢者虐待の多くは、家族の介護疲れや、家庭内の人間関係、地域や周りの人との関係などが、複雑に絡み合っ

て起こっています。あつてはならない事です、一方で虐待する介護者も追い詰められ、どうしたら良いのか分からず、悩み苦しんでいます。

また、認知症や介護に対する知識がないため、言動や行動の混乱にイライラが募り、知らず知らずのうちに虐待してしまっていることもあります。

高齢者虐待が起こる要因



虐待を防ぐために地域でできること

高齢者や介護している家族が孤立しないよう、地域全体で見守り、互いに助け合う関係をつくるのができれば、誰もが安心して暮らせるはずです。

まずは、声掛けや見守りなどできることから始めましょう。

●声を掛け合う

近所の人と日常的にあいさつをしましょう

●見守り、気付く

高齢者や介護者を見守り、ちょっとした変化に気付いてあげましょう

見逃さないで！

介護者と高齢者のSOS

●介護者の発するサイン

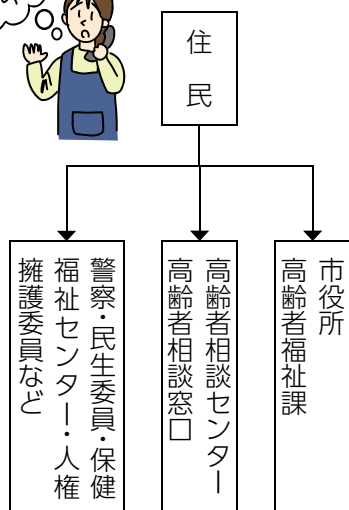
- ・高齢者を訪ねても会わせてもらえない
- ・高齢者の話題を避けようとする
- ・介護疲れのようすがうかがえる
- ・高齢者の悪口を言う
- ・介護について相談する人がいない
- ・ようだ など

●高齢者が発するサイン

- ・あざや傷があり、理由を聞いてもあいまいな返事をする
- ・衣服が汚れている
- ・髪の毛が乱れている
- ・天気が悪い日でも長時間、外にいる
- ・あまり外出しなくなった
- ・「情けない」「死にたい」などと言う
- ・など



おかしいと思ったら相談を



介護者を支え、高齢者の人権を守るために、市や高齢者相談センター、居宅介護支援事業所などが虐待防止と早期発見に努めています。「ようすがおかしいな」と思ったら、高齢者相談センターか市高齢者福祉課に相談してください。高齢者相談センターでは、福祉サービスや介護に関する相談も受け付けています。

●市内の高齢者相談センター●

高齢者相談センター	どりいむ	☎0848・61・4410
高齢者相談センター	三 恵 苑	☎0848・63・6775
高齢者相談センター	三原市医師会	☎0848・63・7100
高齢者相談センター	大 空	☎0848・86・2450
高齢者相談センター	はーもにー	☎0847・32・5007

西野浄水場を 海外研修生が視察



▲西野浄水場で水道部職員の説明を受ける海外からの研修生

市水道部は先月3日、西野浄水場（西野五丁目）に国際協力機構関西国際センター（JICA関西）の研修生を受け入れました。西野浄水場では、薬品を使わず、自然の力で味の良い水を作ることができ、緩速ろ過方式を採用しており、数ある浄水場の中から研修先に選ばれました。

研修は、開発途上国の技術者に日本の技術を学び、自国に持ち帰ってもらう目的で実施されています。エチオピアやタジキスタンなど13カ国から14人が参加し、西野浄水場で水質の浄化や維持・管理の技術を学びました。

研修生は、細かな砂の層に1日4～5mのゆつくりとした速さで水を通す緩速ろ過池などの施設を見学。「ゆつ

り流すと砂層にいる微生物の分解作用で、薬品を使わなくても、水の中の浮遊物などを取り除くことができる」となどと、職員から説明を受けました。

ラオスの水道局で働くシサモン・コンマニーさんは、「ラオスの浄水場も緩速ろ過方式を採用しているが、三原の水道水は澄んでいる。学んだ技術を参考にしたい」と話しました。

水道部管理課

☎0848・642229

高齢者の見守りで 協力体制を構築

市と三原警察署、三原市民生委員児童委員連合協議会、三原市社会福祉協議会の4団体は7月28日、高齢者の見守りに関する協定を結びました。

高齢者が住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができるよう、各団体が連携して地域全体で高齢者を見守る「三原市高齢者安全・安心ネットワーク」を設置します。生活の支援が必要な高齢者の早期発見、高齢者が虐待や詐欺、交通事故などに巻き込まれるのを防ぐため、互いが持っている情報を共有し、協力して防止に努めます。

天満祥典市長、三原警察署の奥田右文署長、市民生委員児童委員連合協議会の大林光夫会長、市社会福祉協議会

の真嶋智会長が協定書に署名。天満市長は「見守りや支援が必要な高齢者が増えており、より重層的な仕組み作りが必要」と話しました。

ネットワークの事務局は三原警察署内に設置し、今後、具体的な連携のあり方を検討していきます。



▲4団体が協力して高齢者を見守る体制をつくります

高齢者福祉課

☎0848・676055

交流20年目を迎えた 中学生の海外研修

市のシンガポールとの少年少女海外研修交流事業が、今年度で20回の節目を迎えました。市内の中学2年生を対象とした同事業では、過去20年間で市から253人、シンガポールから174人の生徒が参加しました。

先月20日には、約1週間の派遣研修

を終えた中学生14人が、市役所で成果を報告。交流するバレスティアヒル中学校への訪問やホームステイの感想などをスピーチしました。参加した大和中学校2年の和佐彩花さんは、「海外に行って日本と外国の文化や歴史の違いを理解できた」と述べました。

事業は、国際性豊かな人材を育てることを目的に、平成8年に開始。当初は市からの派遣だけでしたが、平成13年からはシンガポールからの訪日研修を受け入れ、相互交流事業として続いています。

今年5月にバレスティアヒル中学校の生徒が市を訪れた際は、交流20回記念式典を開催し、過去の研修生らとも交流を深めました。



▲シンガポールでの海外研修の成果を報告する市内の中学2年生

生涯学習課

☎0848・6421137



マイナンバーで、もっと便利に暮らしやすく マイナンバー(社会保障・税番号)制度が始まります②

●マイナンバー制度実施の流れ

	平成27年10月以降	平成28年 1 月	平成29年 1 月	平成29年 7 月
個人	マイナンバーの通知 住民票のある人(外国人を含む)に12桁のマイナンバー(個人番号)が通知されます ※1 住んでいる場所と住民登録している住所が異なる場合、受け取ることができないことがあります。	マイナンバーの利用開始 税、医療保険や雇用保険などの社会保障の手続きで、利用が開始されます 申請者へ個人番号カードが交付されます 年金の手続きでは平成29年1月から利用が開始されます	個人ごとのポータルサイト(マイナポータル)の運用開始 マイナンバーを含む自分の情報を、いつ、誰が、何のために提供したのか確認できます。行政機関からのお知らせも受け取ることができます	地方公共団体なども含めた情報連携を開始 情報連携により事務が確実にスムーズになり、申請手続きなどで証明書の添付が不要になります
民間事業者	法人番号の通知 1法人に1つの法人番号(13桁)が通知されます	マイナンバーの利用開始 支払調書や源泉徴収票の作成、健康保険の手続きなどで、マイナンバーの利用が開始されます	☎国コールセンター ☎0570・20・0178 経営企画課 ☎0848・67・6270	

●次の人は居所情報(送付先)の登録が必要です(※1)

対 象

- ①東日本大震災の被災者やDV・児童虐待などの被害者で、住民登録のある場所以外に住んでいる人
- ②医療機関や施設などに入院・入所が見込まれ、住所地に誰も居住していない人

登録方法 25日(金)(必着)までに、持参または郵送で居所登録情報申請書(市民課、市ホームページに用意)を住民票のある市町村へ

※必要な添付書類があります。

問い合わせ先 市民課(☎0848・67・6047)

三原シティカレッジ(市民講座) 受講料無料

県立広島大学の教授などによる市民講座を開講します。

申し込み 開講日の前日までに、郵送、ファクス、Eメールで①講座名②郵便番号・住所③名前(ふりがな)④職業(学年)⑤連絡先を県立広島大学三原キャンパスへ
※電話での申し込みはできません。

☎県立広島大学三原キャンパス(〒723-0053 学園町1-1)
☎0848・60・1200☎0848・60・1134
✉mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

講座名・内容	講 師	と き	定 員	と ころ
■介護者のための精神看護学講座 ①認知症高齢者の心理や行動の捉え方 ②認知症高齢者の日常介護の留意点 ③介護者のメンタルヘルス ～脳をリフレッシュ!!	県立広島大学 准教授 宮本 奈美子さん 准教授 井上 誠さん ほか	①9月12日(土) ②9月19日(土) ③9月26日(土) 時間は10時～12時	30人(申し込み先着順)	県立広島大学 三原キャンパス ※駐車場台数に限りがあります。

せとうち海上環境&体験航海セミナー

参加費無料

と き 10月3日(土)9時30分～15時30分

と ころ 集合:糸崎港(糸崎南二丁目)

内 容 瀬戸内海の環境学習、クルージング、船の操縦体験など

対 象 小学4～6年生

定 員 40人(申し込み先着順)



用意する物 昼食、飲み物、筆記用具

申し込み 9月18日(金)(必着)までに、郵送、ファクスまたはEメールで①郵便番号②住所③名前④電話番号⑤学校名(学年)⑥性別⑦イベント名を生活環境課(〒723-8601港町三丁目5番1号☎0848・67・6194☎0848・67・6164✉seikatsukankyo@city.mihara.hiroshima.jp)へ



合併10周年企画展

三原市の文化財展

文化財を守り伝える

合併10周年を記念し、「保存と継承」をテーマに文化財を展示します。今回は修復・保存に焦点を当て、文化財を守り伝えることの重要性を考えます。

とき 9月5日(土)～10月12日(月・祝) 10時～18時

ところ リージョンプラザ 展示ホール
展示内容 修復した市文化財、合併後に市重要文化財に指定した文化財、修復過程のパネル・写真など

入場料 300円、大学生100円、高校生以下無料

講演会(リージョンプラザ文化ホール)

第1回「博物館等における展示・収蔵環境について」

▲護花鈴・並笛図(西福寺所蔵、市重文)



▲小早川隆景画像(宗光寺所蔵、市重文)



とき 9月13日(日)13時30分

講師 文化庁美術学芸課 文化財管理指導官 宇田川 滋正さん

第2回①「三原市の文化財修復―小早川隆景画像・登覧画図―」②「仏像の修復について」

とき 9月20日(日)13時

講師 ①有限会社墨仙堂 代表取締役 関地久治さん ②楽浪文化財修理所 所長 高橋利明さん

第3回「東京大学史料編纂所の活動」

とき 9月27日(日)13時30分

講師 東京大学史料編纂所 助教 井上聡さん

定員 各400人

入場料 3回通し券1,000円

販売場所 文化課(城町庁舎2階)

※当日空席がある場合、会場で1講座500円券を販売します。

▲木造地藏菩薩立像(香積寺所蔵、市重文)



文化課

☎0848・649234

第15回みはら映画祭(市民映画祭)

新藤兼人 平和の祈り

戦後70年の節目となる今年。戦争の記憶が風化する中、「戦争・原爆」をテーマとした作品で平和を訴え続けた新藤兼人監督の作品を上映します。

上映の機会には、監督にゆかりのあるゲストを招き、舞台トークを行います。

とき 10月17日(土)・18日(日)

ところ リージョンプラザ文化ホール

▼17日(土)市所蔵作品の上映 無料

①10時30分～12時10分 「裸の島」

②13時～ 舞

台トーク

女優 高田

敏江さん

③14時～14時

50分 「らく

がき黒板」

※舞台トークは入場整理券が必要。文化課、リージョンプラザなどで配布します。

▼18日(日)戦争・原爆をテーマにした作品の上映 有料

①10時30分～12時20分 「さくら隊

散る」(原爆で命を落とした移動演

劇隊「櫻隊」の足跡を描いたドキュ

メンタリー)



▲高田敏江さん



▲「さくら隊散る」

②13時30分～ 舞台トーク 共同通信社 編集委員 立花珠樹さん
③14時30分～16時25分 「一枚のハガキ」(新藤監督の実体験に基づいた反戦がテーマの遺作。主人公は佐木島出身の設定で、筆影山から撮影された瀬戸内海の景色も登場する)



▲「一枚のハガキ」

入場料 1,200円、中高生500円
※前売り券は1,000円。9月7日(月)から販売します。

市民映画祭開催実行委員会事務局

☎0848・649234

国勢調査にご協力ください —インターネットでも回答できます—

- 国勢調査は10月1日現在、日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です
- まずインターネットでの回答を受け付けます。インターネットでの回答がない場合、調査票による調査になります
- インターネットで回答すれば、調査員による調査票の配布・回収はありません

調査スケジュール

9月10日(木)～12日(土)	「インターネット回答の利用案内」配布
9月10日(木)～20日(日)	インターネット回答の受け付け
9月26日(土)～30日(水)	調査票の配布(インターネット回答のなかった世帯のみ)
10月1日(木)～20日(火)	調査票の回収

※調査員を装った訪問者や不審な電話・メールなどに注意してください。調査員は「国勢調査員証」(写真付き)を身に付けています。

☎経営企画課 ☎0848・67・6270
国コールセンター ☎0570・07・2015

人と動物のより良い関係をめざして 20日(日)～26日(土)は動物愛護週間です

動物の特徴や習性を正しく理解し、必要なしつけや訓練を行い、愛情と責任をもって終生飼育しましょう。

- ① 室外で飼う犬は必ずつなぎ、猫は室内で飼う
- ② 繁殖を望まないときは避妊・去勢手術を受ける
- ③ 犬は登録と年1回の狂犬病予防注射を受け、死亡した場合は届け出る

※条例で、犬のふんの放置や放し飼いは禁止され、罰則(5万円以下の過料)の対象です。

動物絵画コンクール 出展作品の展示 入場料無料

とき 9月25日(金)～10月4日(日)9時～20時30分
ところ 市民ギャラリー(ペアシティ 三原西館2階)
内容 市内小学3年生による出展作品の展示

☎生活環境課
☎0848・67・6178

市議会定例会の日程

市議会の9月定例会が開催されます。
市議会は公開しています。傍聴は当日、議会事務局で受け付けます。

定員 本会議=45人

各委員会=5人程度

※定員を超えた場合、入場できないことがあります。

と き	内 容
7日(月)	本会議:開会
9日(水)	本会議:一般質問
10日(木)	本会議:一般質問予備日
11日(金)	10時～ 常任委員会
14日(月)～ 16日(水)	補正予算特別委員会
17日(木)	決算特別委員会
18日(金)	14時～ 本会議:閉会
25日(金)	

☎議会事務局 ☎0848・67・6138

里山・里海リレーシンポジウム 中山間地域の振興 協働の絆づくり ～みんなが主役のパートナーシップ～

参加費無料

中山間地域の活性化には、さまざまな主体が「3方良し(自分良し、相手良し、社会良し)」な関係を築くことが必要です。地域に関わる全ての人が主役となる協働のまちづくりについて学びます。

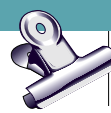
と き 6日(日)13時～15時20分
ところ リージョンプラザ 文化ホール
内 容

- ①基調講演(講師:株式会社小布施堂 代表取締役 市村次夫さん)
- ②事例報告(講師:ひろしまNPOセンター 専務理事 中村隆行さん、みはらまちづくり兔っ兔 理事長 小川和子さん、ソトコト 副編集長 小西威史さん)

定員 150人

※希望者は直接、会場へ。

☎広島県中山間地域振興課 ☎082・513・2632



スポーツ教室の受講生を追加募集

受付期間 定員に達するまで

保険料 高校生以上65歳未満=1,850円、65歳以上

=1,850円または1,000円、中学生以下=800円

※「ベビーとお母さんの3B体操」は1人800円。

※今年度のスポーツ教室受講生は不要です。

申し込み 申込書(提出先に用意)に保険料を添えて、
スポーツ振興課または各支所地域振興課へ

☎スポーツ振興課(城町庁舎2階)

☎0848・64・7219

教室番号	教室名		期間	曜日	時 間	対 象	定員	受講料	会場		
1	水泳	小学生1～2年	10/ 7～2/10	水	15:40～16:30	小学1～2年生	8人	各7,500円	リージョンプラザ 温水プール		
2		小学生3～6年			16:30～17:20	小学3～6年生	4人				
6		モーニング1	10/19～2/29	月	10:00～11:15	成人	3人	各9,500円			
7		モーニング2	10/ 9～2/ 5				9人				
8		ナイト	10/ 7～2/10	水	18:45～20:00		4人				
10		のんびり1	10/19～2/29	月	12:00～13:15		22人			7,500円	
11		のんびり2	10/ 8～2/ 4	木	11:45～13:00		17人	7,500円			
12		ひまわり	10/ 8～2/ 4	木	16:30～17:20	障害者手帳を持っている幼児以上と介助者	8組	7,500円			
13		幼児1	10/19～2/29	月	15:40～16:30	平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれの子	8人	各7,000円			
14		幼児2	10/ 9～2/ 5				金			4人	
15		親子	10/ 7～2/10	水	12:20～13:10		平成22年4月2日～平成24年4月1日生まれの子と親	16組		7,500円	
16		卓球	モーニング	10/ 6～2/ 9	火	9:15～11:30	成人	4人		各6,500円	リージョンプラザ 主体育館
17			アフタヌーン	10/ 9～2/12	金	13:15～15:30		3人			
19		卓球 (硬式)	ナイト2	8/21～11/27	金	19:00～20:45	小学生以上	24人		小・中学生 5,500円 高校生以上 6,500円	白竜湖スポーツ村 公園
22		バドミントン	ナイト	10/ 7～2/10	水	18:30～20:30	高校生以上	10人		8,000円	リージョンプラザ 主体育館
23	ビーチ ボール バレー	モーニング	10/ 9～2/12	金	9:30～11:45	成人	23人	各5,000円			
24		アフタヌーン	10/ 5～2/22	月	13:15～15:30		24人				
25		ナイト	10/ 9～2/12	金	19:30～21:15		31人				
26	レクリエーションスポーツ		10/ 8～2/ 4	木	9:30～11:30	成人	32人	5,000円			
27	体操	シェイプアップ3B1	10/ 7～2/10	水	10:00～11:30	成人女性	3人	各5,500円	リージョンプラザ 副体育館		
28		シェイプアップ3B2	10/ 8～2/ 4	木	19:00～20:30	成人女性	28人		リージョン軽運動室		
30		親子3B	10/ 6～2/ 9	火	10:00～11:30	親子	2組				
31		3Bジュニア	10/ 7～2/10	水	17:00～18:00	幼児～小学6年生	13人	4,000円	リージョンプラザ 副体育館		
33		男性のストレッチ3B	10/ 5～2/22	月	15:30～17:00	成人男性	14人	5,500円			
34	ソフトバレーボール・ナイト		10/10～2/13	土	19:00～21:00	高校生以上	20人	5,500円			
35	ミニバスケットボールジュニア		10/ 3～2/20	土	15:30～17:30	小学4～6年生	22人	3,500円	南小学校		
39	太極拳	モーニング2	10/ 7～2/10	水	9:30～11:00	成人	15人	5,000円	本郷公民館		
47	ゴルフ	アフタヌーン2	10/ 8～2/ 4	木	13:30～15:30		2人	9,500円	西野ゴルフ		
49	マタニティスイミング		1年中	木	10:00～11:00	5～9カ月の妊婦	19人	月謝上限 3,500円	リージョンプラザ 温水プール		
50	ベビーとお母さんの3B体操		1年中	月	10:30～11:30	3カ月以上の子と親	17組	月額3,000円	リージョン軽運動室		

第32回白竜湖ふれあいグリーンマラソン大会の参加者を募集

と き 11月1日(日)10時~※雨天決行。

ところ 白竜湖スポーツ村公園(大和町和木)

種 目

▶マラソン①3km(小学生以上)②5km(中学生以上)
③10km(高校生以上)④20km(高校生以上)

※20kmコースのみ制限時間160分。

▶ふれあいウォーク(芋堀り・自然散策)4km

※家族・グループなど、誰でも参加できます。

参加費

▶マラソン:2,500円、高校生1,200円、小・中学生
1,000円

▶ふれあいウォーク:1,000円、3歳~小学生500円

申し込み 9月11日(金)までに、申込書(提出先、体育施設に用意)を白竜湖ふれあいグリーンマラソン



大会実行委員会事務局(スポーツ振興課内☎0848・64・7219☎0848・67・5912)へ

●当日の運営ボランティアを募集しています

内 容 受け付け、給水所補助など(8時30分~13時)
募集人数 10人(申し込み先着順)

申し込み 9月11日(金)までにスポーツ振興課(☎0848・64・7219)へ

市職員を募集します

試験日・場所

▶第1次試験 10月18日(日)中央公民館

▶第2次試験 11月15日(日)市役所本庁

▶第3次試験 12月12日(土)市役所本庁

受付期間 9月24日(木)まで(消印有効)

申込書の請求・提出先 三原市試験委員会(職員課内
〒723-8601港町三丁目5番1号)

※試験要項と申込書は職員課・市ホームページに用意しています。

※郵便で請求する場合は、宛先と希望職種を記入し、140円切手を貼った返信用封筒(33cm×24cm以上の大きさ)を同封してください。

☎職員課(市役所本庁3階) ☎0848・67・6025

職種(試験区分)	採用予定数	受験資格(年齢は来年4月1日現在)	採用予定日
① 一般事務職(上級)	5人程度	平成2年4月2日～平成6年4月1日生まれの人(22歳～25歳)	来年 4月1日
② 一般事務職(初級)	若干名	平成6年4月2日～平成10年4月1日生まれの人(18歳～21歳)	
③ 一般事務職(身体障害者)	若干名	一般事務職として介助者なしに職務を遂行できる人で、次の(1)～(4)の全てに該当する人 (1)昭和60年4月2日～平成10年4月1日生まれ(18歳～30歳) (2)身体障害者手帳を持っている (3)活字印刷文による出題に対応できる (4)口述による面接試験に対応できる	
④ 建築技術職(上級)	若干名	平成2年4月2日～平成6年4月1日生まれの人(22歳～25歳)	
⑤ 学芸員職(埋蔵文化財・民俗・歴史)	若干名	昭和51年4月2日～昭和61年4月1日生まれで、学芸員の資格を持っている人(30歳～39歳)	
⑥ 保育士・保育教諭・幼稚園教諭職	7人程度	平成2年4月2日～平成8年4月1日生まれで、保育士資格と幼稚園教諭普通免許の両方を持っている人、または来年3月31日までに取得する見込みの人(20歳～25歳)	
⑦ 消防士職	7人程度	平成2年4月2日～平成10年4月1日生まれの人(18歳～25歳)	

※一般事務職(上級)は、7月26日(日)を第1次試験とした試験(a日程)の受験者は受験することができません。

みはら創業応援隊 創業支援講座の受講者を募集

受講料無料

①第3講座「販売促進・販路開拓」②第4回講座「人材育成」

と き ①5日(土)②20日(日)※いずれも14時～16時。

ところ 株式会社まちづくり三原(港町一丁目)

内 容 ①商品開発や店舗運営、販売促進のポイント②人材育成と組織づくり、第1回講座で作成した事業計画書へのアドバイス

講 師 ①みはら創業応援隊コーディネーター 北川貴子さん②おかもと診断士事務所 岡本泰之さん

対 象 市内・近郊で創業をめざす人、創業後1年以内の人

定 員 各10人程度(申し込み先着順)

申し込み 1週間前までに、申込書(株式会社まちづくり三原と市ホームページに用意)をファクスまたはEメールで株式会社まちづくり三原(☎0848・63・5538☎0848・63・8338 E-mail:m-mihara@wing.ocn.ne.jp)へ



▲北川貴子さん



▲岡本泰之さん

☎文化課(城町庁舎2階)

☎0848・64・9234

受付日時 11月14日(土)10時～17時
受付場所 リージョンプラザ展示ホール
募集作品 絵画・彫刻・工芸・書・写真・デザイン
※出品規定応募資格など、詳しくは開催要項(文化課、市民ギャラリー、各支所、中央公民館などに用意)で確認してください。

第64回市美術展覧会の出品作品を募集



芸術文化センター ポポロ

市民公募企画 レッツ ホワイエ

①たんぽぽ会 遊書画展

入場料無料

3日(木)～7日(月)10時～18時

※3日は12時から、7日は12時まで。

内 容 遊びを取り入れた個性あふれる書道作品の展示



②愛 love 優 コンサート

入場料無料

19日(土)14時～

内 容 懐かしい音楽であの頃の自分にってみませんか？

予定曲 真っ赤な太陽、いい日旅立ち、天使の誘惑 ほか

出 演 my song (柳 健一、田尾弘次、岩田泰代) ▲my song



ブルガリア国立歌劇場 プッチーニ歌劇 トゥーランドット(字幕付原語上演)

10月18日(日)18時～

入場券販売中

内 容 市初の海外オペラ公演となるブルガリア国立歌劇場によるオペラ「トゥーランドット」。オペラ・アリア人気ナンバー1の「誰も寝てはならぬ」は必聴

出 演 ブルガリア国立歌劇場管弦楽団、合唱団

入場料 S席 15,000円、A席 11,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

販売場所 ポポロ、ポポロオンライン ほか



▲ブルガリア国立歌劇場
©Sofia National Opera and Ballet

新しい音楽の風Ⅴ vol.2

小林沙羅&藤木大地 デュオ・リサイタル

10月3日(土)15時～

内 容 クラシック新時代の歌姫 ソプラノ歌手の小林沙羅と、ヨーロッパでも活躍するカウンターテナー歌手の藤木大地が協演。オペラのアリア、デュエット、日本の歌など、心にしみる名曲の数々を披露

予定曲 オッフェンバック「ホフマン物語」より「舟歌」(二重唱)、ヘンデル「歌劇「セルセ」より「オンブラ・マイ・フ」 ほか

入場料 2,500円、高校生以下1,000円

※高校生以下券はポポロ、ポポロオンラインで販売。

※未就学児の入場はご遠慮ください。



▲小林沙羅
(© Nippon Columbia)



▲藤木大地
(© K.Miura)

☎芸術文化センター ポポロ (☎0848・81・0886)

第2回さぎ島100kmウォーク

10月31日(土)7時30分～11月1日(日)13時30分※雨天決行。

ところ 集合:三原港

内 容 佐木島の自然と人に触れながら、自分の限界に挑戦する全長100kmの長距離ウォーキング大会

対 象 中学生以上

定 員 80人

※申し込み多数の場合は抽選。

参加費 出場者:10,000円 ボランティアスタッフ:5,000円

※行きの乗船費、3食と夜食、ゼッケン、保険料、鈴・反射タスキレンタル代(出場者のみ)、記念品代などを含む。

申し込み 10月2日(金)までに、ホームページ(<http://sagi100km.jp>)の申し込みフォームから

☎さぎ100実行委員会 (☎070・2352・9035)

小佐木島特別展示会

TIDE WATER

入場料無料

千住 博×柳 幸典 コラボレーション 小鷲島ビオアイル・プロジェクト

10月3日(土)・4日(日)9時30分～16時

ところ 小佐木島(鷺浦町)

※会場は小佐木港から徒歩1分。

内 容 集落再生プロジェクト

で柳 幸典さんと八木 健太郎

さんにより設計された「BH 1」

と「BH 2」、千住 博さんによ

る小佐木島をイメージした作品「タイドウォーター」と

代表作「ウォーターフォール」の特別展示

☎文化課 (☎0848・64・9234)



リージョンプラザ

映画のつどい

19日(土)

①10時30分～②14時
～③18時30分～

ビリギャル 家族劇場



23日(水)

①10時30分～②14時
～③18時30分～

あん 特別劇場



入場料 1,800円(1,500円)、大学生1,500円(1,300円)、3歳～高校生1,000円(800円)、60歳以上1,100円、どちらかが50歳以上の夫婦2人で2,200円

※()は割引券持参の場合。

※障害者手帳を提示した人は1,000円。

割引券設置場所 リージョンプラザ、ポポロ、中央図書館、中央公民館、各文化センター、うきしろロビー・フジグラン三原

☎リージョンプラザ(☎0848・64・7555)

中秋の名月観望会 &しの笛演奏会

27日(日)18時～22時※演奏会は19時～。

ところ 宇根山天文台(久井町吉田)

内容 中秋の名月(十五夜)の観望としの笛の演奏

入館料 310円、中高生210円、小学生100円、小学生未満無料

☎生涯学習課(☎0848・64・2137)、宇根山天文台(☎0847・32・7145※開館日のみ。)

県内の観光情報

ひろしま神楽の日2015

26日(土)10時～18時・27日(日)10時～16時

ところ JR広島駅南口地下広場

内容 広島が誇る伝統芸能「神楽」の公演など。勇壮な神楽ばやしと華麗な舞が披露されます

☎「神楽」まち起こし協議会事務局(安芸高田市政策企画課内☎0826・42・5612)



三原駅前市民広場のイベント

5日(土)・6日(日)9時～ こっとう 骨董市&フリーマーケット

12日(土)8時～11時 軽トラ朝市

内容 市内業者が生産・加工した農水産物の販売

☎商工会議所(☎0848・62・6155)

27日(日)10時～17時

みはらミュージックマーケット2015
～音楽の宝さがし～

内容 地元ミュージシャンによるライブステージ、ハンドメイド市や飲食ブースなど

☎みはらミュージックマーケット実行委員会(☎0848・38・7227)



10月18日(日)10時～16時

ランニングバイク大会 ミハライダーズカップ

内容 ペダルとブレーキのないランニングバイク「ストライダー」で特設コースを走り、年齢別クラスで順位を競う

対象 2歳児～小学3年生

定員 各クラス32～40人(申し込み先着順)

参加費 1,500円

用意する物 ランニングバイク、ヘルメット、手袋、肘・膝プロテクター

※ランニングバイクとヘルメットは貸し出しできます。申し込み時に申請してください。

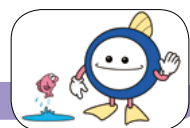
申し込み 9月18日(金)までに、フェイスブック(<http://www.facebook.com/mihariders2015>)から

☎駅前広場盛り上げ隊事務局(☎090・1339・7751)



下水道の日ふれあいデー

5日(土)10時～15時



ところ 沼田川浄化センター(円一町一丁目)

内容 施設見学、ビデオ上映、微生物の観察など
※先着順で花の球根、メダカ、さつまいもなどを進呈。

☎公益財団法人広島県下水道公社三原支所(☎0848・67・6585)

三景園 観月会・夜間開園

26日(土)18時15分～20時40分※大雨の場合は27(日)に順延。

入場料 500円、小・中学生200円、小学生未満無料

※数奇屋風水建築の潮見亭で食事ができます(1日25食限定、要予約)。

☎三景園管理事務所(☎0848・86・9200)



第40回三原 やっさ祭り

華麗に、力強く、舞い踊るー。

第40回三原やっさ祭りが先月7日（金）～9日（日）の3日間、JR三原駅前を中心に開催され、約8000人の踊り手が参加、約40万人の観客が詰め掛けました。

会場を糸崎岸壁に移した3日目の花火フェスタでは、高さ500m、開いたときの大きさが直径500mを誇る2発の2尺玉が瀬戸内海上に打ち上がり、40回の節目となった祭りに花を添えました。

【観客動員数（主催者発表）】

7日（金）▼10万人 8日（土）▼15万人

9日（日）▼15万人

【踊り参加チーム（参加者数）】

7日（金）▼32チーム（約2000人）

8日（土）▼75チーム（約5000人）

子どもやっさ▼10チーム（約1000人）

【主な入賞チーム】

創作やっさ部門・創作やっさ大賞

▼スタジオ来夢

金曜正調部門・やっさ大賞

▼本町連合町内会

子どもやっさ部門・子どもやっさ大賞

▼南小レッドスターズ（南小学校）

土曜正調部門・やっさ大賞

▼特定医療法人大慈会三原病院



生活情報 掲示板

三原の情報を発信中

テレビ番組

「三原さんぽde幸福女子」

放送日時 毎週木曜日23時10分
～23時15分

放送局 広島ホームテレビ

問い合わせ先 観光課(☎08
48・67・6015)

1日(火)～10日(木) 屋外広告物適正化旬間

屋外広告物(看板)を表示・設置する場合は、広島県屋外広告物条例に基づき許可が必要です。設置前に確認してください。
問い合わせ先 都市開発課(☎0848・67・6113)

国保の保険証を郵送します

現在交付している国民健康保険(国保)の保険証の有効期限は、今月末です。新しい保険証

は、今月中旬に簡易書留で郵送します。

問い合わせ先 保険医療課(☎0848・67・6050)

木造住宅の耐震診断・耐震改修費用を補助します

内容 ①耐震診断を自己負担額1万円で実施②耐震改修費を上限40万円まで補助
対象 昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅
※2階建て以下の戸建て住宅など補助要件があります。

募集数 ①8棟②3棟(いずれも申し込み先着順)

申し込み 11月30日(月)までに建築指導課(☎0848・67・6122)へ

都市計画案が縦覧できます

とき 4日(金)～18日(金)
ところ 都市開発課(円一町庁舎3階)
内容 都市計画用途地域の変更、特別用途地区の決定
○意見書を提出できます
提出期限 18日(金)まで
※ホームページでも都市計画用途地域を閲覧できます。

問い合わせ先 都市開発課(☎0848・67・6118)

還付金詐欺が多発しています!

ATMへ行くように指示されたら要注意
公的機関の職員を装い、医療費などを返還すると偽ってATMに誘導し、現金を振り込ませる手口の詐欺が増えています。

宅配便などでの送金を指示する場合も
ATMからの振り込みだけでなく、宅配便などで送金を指示する手口も多く発生しています。

不審な電話はいったん切り、家族や警察に相談してください。

不審者や還付金詐欺の発生情報をメールで配信します

登録はmihara@xpressmail.jpへ空メールを送信または2次元コードを読み取り、画面に表示される手順に従って操作してください。

問い合わせ先 生活環境課(☎0848・67・6179)



地籍調査の登記が完了しました

対象 ①長谷町②長谷四丁目③長谷五丁目
登記完了地番 ①541番1～560番(山林部)②1番1～447番(耕作部)③251～477番(耕作部)

問い合わせ先 農林水産課(☎0848・67・6123)

21日(月)～30日(水) 秋の全国交通安全運動

◎子どもと高齢者の交通事故防止
思いやりのある運転で交通ルールとマナーを守り、安全確認を十分行ないましょう。
○秋の全国交通安全運動開始式
とき 15日(火)10時30分、ところ 大和小学校

催し

女性のための人材育成セミナー

とき 10月2日(金)、8日(木)、29日(木)の毎週木曜日18時30分～20時(全5回)

ところ 中央公民館
内容 男女共同参画について理解し、行動できる人材を育成するための講習

対象 市内在住・在勤の20歳以上の女性

定員 20人(申し込み先着順)
申し込み 9月25日(金)までに申込書(提出先、市ホームページに用意)を人権推進課(☎0848・67・6044)へ

看護師再チャレンジセミナー

とき 10日(木)13時15分～15時30分

ところ サン・シープラザ3階

内容 復職支援、就業相談

申し込み 3日(木)までに広島

県ナースセンター(☎082・

293・9786)へ

よつてみんさい市民ギャラリー
(ペアシティ三原西館2階)

○児童生徒科学研究作品展

とき 5日(土)～7日(月)9時30分～17時(7日は15時30分まで)

○睦会作品展

とき 7日(月)～13日(日)10時～18時(7日は13時から、13日は16時まで)

○三原やっさ踊り振興協議会公開練習

とき 8日(火)18時30分～

○老人大学絵手紙コース作品展

とき 9日(水)～14日(月)9時～17時(14日は16時まで)

○直美の部屋コンサート

とき 18日(金)14時～

○藤原義治回顧展

とき 18日(金)～23日(水)10時～18時(18日は13時から)

○三光クラブ写真展

とき 25日(金)～29日(火)9時～18時(29日は16時まで)

問い合わせ先 文化課(☎08

障害者の就職を支援
ふれあい合同面接会

とき 18日(金)13時～16時

ところ 福山ニューキャッスル

ホテル(福山市三之丸町)

問い合わせ先 ハローワーク三

原(☎0848・64・8609)

リラックス講座

とき 10月9日(金)13時～15時30分

ところ 本郷生涯学習センター

内容 フラワーアレンジメント

体験と二胡鑑賞

対象 身体障害者手帳のある人

定員 25人(申し込み先着順)

参加費 1,200円

申し込み 9月24日(木)までに

身体障害者福祉協会連合会

内さん(☎0848・62・586

6)へ

市民企画の

三原いきいきセミナー

とき 27日(日)13時30分～15時

ところ 中央公民館

演題 三原築城450年に向け

て～三原名物 やっさ踊り～

講師 三原二之丸会会長 山崎

愛一郎さん

定員 60人(先着順)

※希望者は直接会場へ。

問い合わせ先 人権推進課(☎

0848・67・6044)

甲種防火管理講習

①新規講習②再講習

とき ①10月15日(木)・16日

(金)9時20分～②10月14日

(水)13時～

ところ ゆめきやりあセンター

(館町二丁目)

申し込み ①9月7日(月)～18

日(金)②9月1日(火)～18日

(金)に申請書(消防署、各分

署・出張所に用意)を広島県消

防設備協会(☎082・24

3・2002)へ

障害者スポーツフェスティバル

①ソフトボール大会

とき 9月26

日(土)9時

30分～

ところ 本郷総合公園

②屋内大会(卓球バレーなど)

とき 10月17日(土)9時30分～

ところ リージョンプラザ



対象 障害のある人と家族

申し込み ①9月4日(金)②9

月25日(金)までに社会福祉協議

会(☎0848・63・0570 FAX 0

848・63・0599)へ

硬式テニス講習会

とき 20日(日)

①10時～12時

②13時～15時

※雨天中止。

ところ やまみ三原運動公園

対象 ①中級者②初級者

受講料 300円

申し込み 18日(金)までにテニ

ス協会 加藤さん(☎090・

7592・0338)へ

要約筆記ボランティア

養成講座

とき 10月10日(土)～来年3月

12日(土)の原則隔週土曜日

(全10回)13時～16時

ところ サン・シープラザ4階

内容 耳が聞こえにくい人のた

めに文字で通訳する技術など

受講料 1,100円

定員 20人(申し込み先着順)

申し込み 9月30日(水)まで

にボランティア・市民活動サ

ポートセンター(☎0848・

67・9339)へ



自殺予防対策講演会

とき 12日(土)13時30分～15時30分
ところ リージョンプラザ

演題 若者の社会参加が地域を
元気にする！

講師 NPOスチューデント・

サポート・フェイス代表理事

谷口仁史さん

※希望者は直接会場へ。

問い合わせ先 保健福祉課(☎

0848・67・6061)

道の駅「よがんす白竜」

レストラン2周年記念イベント

とき 19日(土)・20日(日)9時

～17時

内容 大和れんこんの特製スー

プ、石釜ピザの限定販売など

※各日先着50人に紅白餅を贈呈。

問い合わせ先 道の駅「よがんす

白竜」(☎0847・35・3022)

ひとり親家庭生活向上

講習会・総合相談会

とき 10月27日(火)①講習会10

時～11時30分②相談会13時～

15時

ところ サン・シープラザ3階

内容 ①養育費の取得手続きに

関する講習会②専門相談員に

よる養育費についての相談

対象 ひとり親家庭やその見込

みの人

定員 ①30人②4人(申し込み

先着順)

申し込み先 広島県母子家庭等

就業・自立支援センター(☎0

82・249・7149)

募集

市営住宅の入居者

募集住宅 小西北住宅(高齢者

向け)、本佐木住宅、久井・大

和地区の住宅

受付日時 9月16日(水)～10月

2日(金)

受付場所 建築課(円一町庁舎

1階)

※資料の配布は16日(水)から、

建築課、各支所で。

※募集住宅や日程など、詳しく

は資料、市ホームページに掲載。

問い合わせ先 建築課(☎08

48・67・6120)

新成人のつどい(成人

式)実行委員

応募条件 次のいずれかに該当

する人

①成人式に出席する平成7年4

月2日～平成8年4月1日生

まれの人

②5年以内に成人した人、また

は2年以内に成人する人で、

意欲のある人

募集人数 10人程度

活動内容 9月～12月に8回程

度開催する会議での企画・運

営の検討、当日の運営など

応募方法 10日(木)までにファ

クスかEメールで①住所②名

前③性別④生年月日⑤電話番

号を生涯学習課(☎0848・

64・2137 ㊦0848・64・0

137 ㊧syogai@city.mihara

.hiroshima.jp)へ

非常勤児童クラブ指導員

任用期間 10月～来年3月

報酬(日額) 5,410円

勤務日・時間 週6日、1日4

時間50分

応募資格 平成27年10月1日現

在65歳未満で、①保育士など

の資格、各種教諭免許を持つて

いる人②大学などで、教育学な

どを専修する学科・課程を卒

業した人③高卒で、類似する

業務の経験が2年以上ある人

定員 2人

応募方法 15日(火)までに、履

歴書と資格を証明するものの

写しを子育て支援課(☎08

48・67・6045)へ

文芸三原の原稿

募集期限 12月25日(金)まで

対象 小説・随筆・俳句・川柳・短

歌など未発表の作品

申し込み先 文化課(☎084

8・64・9234)

美術展覧会の出品作品

受付日 来年2月22日(月)

対象 日本画、洋画、書、写真、

彫刻など

※募集要項は、文化課、各支所、

中央公民館などに用意。

問い合わせ先 文化課(☎08

48・64・9234)

けんみん文化祭ひろしま'15

和太鼓フェスティバル審査員

とき 11月29日(日)9時30分～

17時

ところ 芸術文化センターポポロ

対象 高校生以上で最後まで鑑

賞できる人

※出演団体関係者を除く。

募集人数 5人

※応募多数の場合、抽選。

申し込み 10月2日(金)までに

郵送で①住所②名前③電話番

号④審査員希望と記入し、文

化課(〒723-0014 城町一丁目2番

1号 ☎0848・64・9234)へ

生涯学習講座

各講座は、申し込み先着順です。申し込み受け付けは、1日(火)10時からです。

講座名	と き	ところ	対象	定員	参加費	申込期限	申し込み先
体がよこぶフラダンス	15日(火) 10時～11時30分	沼田東コミュニティセンター	大人	20人	100円	11日(金) まで	沼田東コミュニティセンター (☎0848・66・3179)
ヨガ体験教室	15日(火) 10時～11時30分	幸崎コミュニティセンター		30人	100円	11日(金) まで	幸崎コミュニティセンター (☎0848・69・0001)
体がよこぶ健康講座	16日(水)13時30分～15時30分	本郷生涯学習センター		20人	100円	14日(月) まで	本郷生涯学習センター (☎0848・85・0701)
はじめての絵手紙体験講座	17日(木) 10時～11時30分	久井公民館		15人	500円	11日(金) まで	久井公民館 (☎0847・32・7139)
天使の羽根ストレッチ体験講座	18日(金) 13時30分～15時	くい文化センター		20人	100円	11日(金) まで	くい文化センター (☎0847・32・7138)
運動しながら脳を鍛えよう(コグニサイズ体験教室)	24日(木) 10時～12時	宮浦コミュニティセンター		30人	100円	22日(火) まで	宮浦コミュニティセンター (☎0848・62・7944)
もの作り講座 大工編(全2回)	25日(金)・10月9日(金)13時30分～15時30分	本郷生涯学習センター		16人	1,900円	15日(火) まで	本郷生涯学習センター (☎0848・85・0701)
レコードから学ぶ音楽史	29日(火) 9時30分～12時	中央公民館		20人	600円	25日(金) まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)
美しい姿勢に！ピラティス体験講座	10月8日(木) 10時～11時30分	大和文化センター		10人	100円	10月5日(月)まで	大和文化センター (☎0847・33・1115)
役に立つ大人の英会話	10月9日(金) 14時～16時	沼田東コミュニティセンター		20人	100円	10月7日(水)まで	沼田東コミュニティセンター (☎0848・66・3179)

図書館アラカルト

休館日 中央図書館＝21日(月)～23日(水)
 本郷・久井・大和図書館＝21日(月)～23日(水)、火曜日

中央図書館(☎0848・62・3225)

- ぽけっといっぱいのおはなし会
と き 3日(木)11時～11時30分
- ねむの木 おはなしのひろば
と き 5日(土)・19日(土)10時30分～11時30分
- 虹の会 絵本のよみかたり
と き 12日(土)・26日(土)14時～14時30分
※26日は手話通訳もあります。
- 虹の会 0歳からのよみかたり
と き 18日(金)10時30分～11時・11時15分～11時45分
- 読書会
と き 28日(月)13時30分～15時
内 容 『風塵抄』司馬 遼太郎/著
- 紙芝居初心者講座
と き 30日(水)10時～12時
内 容 紙芝居の選び方・演じ方など
定 員 30人(申し込み先着順)
申し込み先 中央図書館(☎0848・62・3225)

本郷図書館(☎0848・85・0703)

- こんぺいとう おはなし会
と き 19日(土)14時～14時30分

ほんごう子ども図書館(☎0848・86・6066)

- おはなし会
と き 1日(火)10時30分～11時、12日(土)・26日(土)14時～15時

久井図書館(☎0847・32・7138)

- おはなし会
と き 26日(土)13時30分～14時

大和図書館(☎0847・33・1115)

- 絵本とおはなしの時間
と き 土曜日10時30分～11時

おすすめ本

『宿坊さんぽ』 上大岡 トメ/著

高野山をはじめ、京都、関東の宿坊や修行体験スポットを紹介。興味はあるけれど…と、なかなか踏み出せずにいる人も、これを読めばきっと出掛けてみたくなります。





9月9日は救急の日

●救急車と救急医療の正しい利用を

大切な命を救うために、救急車と救急医療は適正に利用してください。

●救急救命講習会を実施

救急車が現場に到着するまでに重要なのは現場での応急手当です。講習で正しい知識と技術を身に付けましょう。

とき 13日(日)9時～12時

ところ 消防署、西部分署、北部分署

内容 心肺蘇生法(AED講習を含む)、止血法など

受講料 500円(教材費)

申し込み 12日(土)までに、消防署消防課(☎0848・62・2101)、西部分署(☎084

8・86・2119)、北部分署

(☎0847・22・3737)へ

○子どもの救急電話相談

急な発熱など子どもの夜間の急病で判断に迷うときは、電話で相談してください。

受付時間 毎日19時～翌朝8時
電話番号 #8000または082・505・1399

献血のお知らせ

とき 10日(木)9時30分～11時30分

ところ 三原税務署

問い合わせ 保健福祉課(☎0848・67・6234)

もの忘れ相談

とき 10日(木)13時30分～15時30分

ところ 市役所本庁4階

内容 介護相談員による認知症の介護生活支援の相談

定員 2人(申し込み先着順)

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

機能訓練室利用のための講習会

とき ①11日(金)14時～16時30分

②17日(木)13時30分～15時30分

ところ ①本郷福祉センター

②サン・シープラザ3階

内容 運動機器を安全・効果的に利用するための講習

対象 要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の入

定員 各15人(申し込み先着順)

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

やさしい精神保健福祉講座

ところ 城町庁舎2階

とき	講座名	講師
9月17日(木)	統合失調症について	三原病院医師 足立知也さん
9月19日(土)	子どもたちの心の声を聴いて	三原ふれあい相談室 相談員 澤田良子さん
10月10日(土)	働くあなたのメンタルヘルス	小泉病院医師 永山 研さん
10月16日(金)	認知症？うつ病？せん妄？	小泉病院院長 山岡信明さん

※時間はいずれも13時30分～15時。

申し込み先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

介護予防研修会～運動コース～

とき 9月17日(木)・24日(木)・10月1日(木)・8日(木)10時～11時30分

ところ サン・シープラザ3階

対象 要支援・要介護認定を受けていない65～75歳の入

定員 各30人(申し込み先着順)

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

こんにちは 保健師です



定期的ながん検診を受けましょう

がんを早期がんのうちに発見できる期間は、わずか1～2年の間だということを知っていますか。

がんは直径1cmの大きさになるのに、15年以上かかります。しかし、1cmのがんが2cmになるのには、2年もかかりません。

乳がんの場合、早期がんと定義されているのがんが2cmになるまで。つまり、がんが1cmから2cmの大きさになる、わずか2年足らずの間でしか早期のがんは発見できないのです。

がんを早期に発見するには、何よりも定期検診が有効です。市は今年度から、より精度の高いがん検診を受診できるように、胃がん検診で胃カメラ検査、肺がん検診で低線量CT検査を導入しました。

市内医療機関では通年で受診することができます。「忙しいので受けられない」という人も多いですが、「誕生日に受ける」など自分で決めて受診機会を確保するようにしましょう。

三原市保健師 本田桂子

なんのなんでも相談

とき 24日(木)13時30分～15時30分

ところ サン・シープラザ4階

内容 精神科医師による相談

定員 2人(申し込み先着順)

申し込み 17日(木)までに保健福祉課(☎0848・67・6061)へ

8020いい歯の表彰者募集

80歳以上で、歯が20本以上(入れ歯は除く)ある人を、10月24日(土)に開催する市民保健・福祉まつりで表彰します。

応募期限 9月18日(金)まで

男性の料理教室

とき 25日(金)10時～13時

ところ サン・シープラザ3階

対象 65歳以上で一人暮らしの男性、男性介護者

定員 30人(申し込み先着順)

参加費 250円

用意する物 エプロン、三角巾

申し込み 18日(金)までに社会福祉協議会(☎0848・63・0570)へ

精神保健福祉相談

とき 30日(水)13時30分～16時

ところ 東部建設事務所三原支所(円一町二丁目)

内容 精神科医師による相談

申し込み 29日(火)までに東部保健所(☎0848・25・4640)へ

成年後見制度講演会

とき 10月1日(木)13時30分～15時30分

ところ 中央公民館

演題 困らない老後の暮らし方～知っておく成年後見制度～

講師 一般社団法人後見の杜代表 宮内康二さん

定員 150人(申し込み先着順)

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

認知症予防講演会

とき 10月9日(金)13時30分～15時30分

ところ 市民福祉会館

演題 運動で認知症予防

講師 Marieフィットネス サポート 田中好行さん

定員 150人(申し込み先着順)

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

子育て
応援

子育て応援相談

とき 10日・22日を除く火・木曜日10時～12時、13時～15時

ところ サン・シープラザ3階

内容 乳幼児の発達や子育ての相談、専門機関の紹介など

対象 乳幼児と保護者

申し込み先 保健福祉課(☎0848・67・6359)

マタニティスクール

とき 10月9日(金)10時～12時

ところ サン・シープラザ3階

内容 妊娠・出産についての話、栄養講座



定員 15人(申し込み先着順)

用意する物 母子健康手帳

申し込み 10月2日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6061)へ

子育て支援センター
での子育て相談

とき・ところ ①9月3日(木)10時～11時30分・本郷ひまわり保育所(下北方一丁目)②9月10日(木)14時～15時・ぽぽら(宮浦六丁目)③10月2日(金)10時～11時30分・あさかぜ保育園(沼田東町片島)

内容 身体測定、育児・栄養・歯科相談、遊びの広場



対象 乳幼児と保護者

用意する物 母子健康手帳 ※希望者は直接会場へ。

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

水泳教室の体験会

とき 29日(火)13時15分～14時30分

ところ 三原スイミングスクール(宮浦四丁目)

対象 発達に心配や障害のある中学生以下の子と家族



申し込み 25日(金)までにみはらスイミー阿部さん(☎0848・67・1528)へ

ベビーサロン

とき 24日(木)10時30分～11時40分

ところ サン・シープラザ4階

内容 母子保健推進委員によるふれあい遊びなど

対象 0歳児と保護者

用意する物 バスタオル

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

連休中の小児科救急当番医院

と き		医療機関名
20日(日)	9時～12時、13時～16時30分	三原赤十字病院(東町二丁目)(☎0848・64・8111)
21日(月)	9時～12時30分、13時30分～16時	わきた小児科(宮浦六丁目)(☎0848・67・7999)
22日(火)	8時30分～17時30分	三原市医師会休日夜間急患診療所(宮浦一丁目)(☎0848・67・7040)
23日(水)	9時～12時、13時30分～16時30分	興生総合病院(円一町二丁目)(☎0848・63・5500)

リトミック(音楽遊び)

とき 30日(水)10時～11時

ところ 幸崎コミセン

対象 1歳以上の未就園児と保護者

定員 10組(申し込み先着順)

参加費 100円

申し込み 25日(金)までに幸崎コミセン(☎0848・69・0001)へ

親育ち応援事業
ベビープログラム

とき 10月7日(水)～28日(水)の毎週水曜日(全4回)13時～15時

ところ サン・シープラザ4階

演題 親子の絆づくりプログラム あかちゃん

が来た！～はじめての育児～

講師 岡本光枝さん、大木なつ子さん

対象 2～5カ月児の第1子と母親

定員 14組(申し込み先着順)

参加費 864円(テキスト代)

用意する物 バスタオル

申し込み先 地域子育て支援センターぽぽら(☎080・2934・8549)



～知っ得情報～

消費生活
の心得 15公的な相談窓口だと思って相談したら
費用を請求された

《相談内容》

「ご覧になったアダルト動画の料金が未納です」という内容のメールが届いた。利用履歴があると書いてあるが、覚えはまったくない。相談窓口をインターネットで検索し、公的機関のような名前の相談センターに相談した。無料だと思っていたら、解決費用に5万円かかると言われた。名前や住所、電話番号を伝えてしまった。どうしたらいいか。

(50歳代、男性)

《アドバイス》

このような内容のメールに利用日時やサイト名、料金などが記載されていない場合は、架空請求の可能性が高いです。このまま何もせずには見ましましょう。

このケースのように、公的機関が設置している消費生活センターなどに相談しようと、インターネットで検索し、検索結果の上位に表示された機関に相談すると、実は調査会社や行政書士で、費用を請求されたという事例が消費生活センターに報告されています。自治体が設置している消費生活センターなどの公的な相談窓口では、相談料はかかりま

消費生活の困り事はこちらへ
消費生活センター ☎0848・67・6410

相談員が、解決策を一緒に考えます。
と き 21日～23日を除く月～金曜日
9時～12時、13時～16時
ところ 市役所本庁5階
【巡回相談】
と き 11日(金)、18日(金)、25日(金)
14時～16時
ところ 本郷・久井・大和支所
申し込み 相談日の前日までに、消費生活センターまたは商工振興課(☎0848・67・6072)へ

せん。「解決に必要な」個人情報削除するため」などと費用を請求されたら、それは公的な相談窓口ではありません。よく確認した上で相談しましょう。

あらかじめ消費生活センターの連絡先を携帯電話などに登録し備えておきましょう。消費者ホットライン(局番なし188番)を利用することもお勧めします。



児童館へおいでよ！

申し込み先 児童館(☎☎兼用0848・67・1123)

児童館フェスタ'15

と き 19日(土)10時～15時
ところ 児童館、市民福祉会館
内 容 工作体験ラリー、コンサートなど
参加費 無料
※工作体験ラリーは300円。
※希望者は直接会場へ。



ママチャレンジ

と き 24日(木)10時30分～11時30分
内 容 ピラティス
対 象 子育て中の母親
定 員 20人 参加費 500円
※託児あり(要予約)。
用意する物 タオル

茶の心～和親庵～

と き 26日(土)①10時15分～②11時15分～
ところ サン・シープラザ4階
内 容 お茶のお点前
対 象 3歳児以上(未就学児は保護者同伴)
定 員 各10人
参加費 250円

後期クラブメンバーの募集

クラブ名	とき(10月～3月)	対象(平成27年度中)	定員	受講料
和・アート	第2・4水曜日15時～	5歳児～小学3年生	20人	3,000円
手芸	第2土曜日14時～15時30分	小学4～6年生	10人	2,000円
料理	第2日曜日10時30分～13時	小学生以上	20人	2,500円

申し込み 8日(火)(必着)までに、往復はがきで①クラブ名②住所③電話番号④名前(保護者・子)⑤年齢⑥学年を、児童館(〒723-0014城町一丁目18番1号)へ
※応募は1人1回、1クラブのみ。
※多数の場合は抽選。詳細は、じどうかんだより9月号に掲載。

赤ちゃん集まれ！

と き 29日(火)10時30分～12時
内 容 ベビーマツサージ
対 象 2～10カ月児と保護者
定 員 13組 参加費 500円



※いずれも申し込み先着順です。申し込み受け付けは、1日(火)10時からです。月曜日は休館日です。

人権標語

(平成27年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ最優秀作品)

地域力×女性力＝無限大の未来

くらしの無料相談窓口

相談日などは、変更する場合があります。事前に確認してください。

相談の種類	と き		と こ ろ	申し込み・問い合わせ先
弁護士法律相談	①18日(金)②25日(金) ※いずれも要予約。受け付けは7日(月) 8時30分から。	13時～16時	①中央公民館 ②久井支所	生活環境課 (☎0848・67・6178)
	9日(水)・30日(水) ※いずれも要予約。利用には収入などの条件があります。	10時～16時	広島地方裁判所尾道支部内(尾道市新浜)	広島弁護士会尾道地区会 (☎0848・22・4237)
司法書士法律相談	21日～23日を除く月～金曜日	12時～15時	電話相談 広島相談センター(☎082・511・7196)	
法的トラブルの解決法・窓口の案内		9時～16時	電話相談 法テラス広島(☎050・3383・5485)	
消費生活相談	21日～23日を除く月～金曜日	9時～12時、13時～16時	市役所本庁5階 ※電話相談も可。	消費生活センター (☎0848・67・6410)
消費生活巡回相談	11日(金)・18日(金)・25日(金) ※いずれも要予約。	14時～16時	本郷・久井・大和支所	
若年者向け就職相談	21日を除く月曜日※要予約。	12時～17時	サン・シープラザ3階	生涯学習課 (☎0848・64・2137)
学校生活・勉強などの悩み相談	21日～23日を除く月～土曜日	9時～17時45分(土曜日は8時30分～17時15分)	リージョンプラザ2階 ※電話相談も可。	三原ふれあい相談室 (☎0848・64・7201)
学校生活の悩み・体罰などの相談	21日～23日を除く月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 三原子どもサポートダイヤル(☎0848・67・6173) ※時間外は、留守番電話で対応。	
児童虐待通告窓口	毎日	24時間	電話相談 子育て支援課(☎0848・67・6088)	
家庭児童相談	21日～23日を除く月～金曜日 ※28日(月)は要予約。	9時30分～16時	サン・シープラザ3階	家庭児童相談室 (☎0848・61・0121)
女性相談	21日～23日を除く月～金曜日			女性相談室 (☎0848・61・0122)
健康・食生活相談	17日(木)	13時15分～16時		保健福祉課 (☎0848・67・6053)
アレルギー疾患相談	15日(火)	13時30分～15時30分	県東部保健所(尾道市古浜町)	県東部保健所 (☎0848・25・4641)
HIV抗体検査・エイズ相談	21日～23日を除く月～金曜日	8時30分～17時		県東部保健所 (☎0848・25・4640)
認知症相談	22日を除く火・木曜日	13時～16時30分	電話相談 県地域包括ケア推進センター (☎082・553・5353)	
成年後見専門相談	10日(木)※要予約。	14時～16時	サン・シープラザ3階	障害者生活支援センター (☎0848・63・3319 ☎0848・63・3359)
障害者なんでも相談	16日(水)※要予約。	14時～16時	本郷福祉センター	
	2日(水)※要予約。	10時～12時	久井保健福祉センター	
	11日(金)※要予約。		大和保健福祉センター	
心配ごと相談	22日・29日を除く火・金曜日	13時～16時	サン・シープラザ3階	社会福祉協議会・各地域センター (☎0848・63・0570)
	2日(水)・9日(水)・16日(水)	9時～12時	本郷福祉センター	(☎0848・86・3607)
	2日(水)・16日(水)		久井保健福祉センター	(☎0847・32・7101)
	4日(金)・18日(金)		大和人権文化センター	(☎0847・33・1308)
	11日(金)・25日(金)		大和保健福祉センター	(☎0847・34・1214)
人権相談	22日・23日を除く火・水・金曜日、10日(木)	10時～16時 (10日は13時から)	サン・シープラザ3・4階	人権推進課 (☎0848・67・6044)
	21日を除く月・木曜日	10時～16時	市役所本庁4階	
	21日～23日を除く月～金曜日	10時～16時	人権文化センター	(☎0848・66・1111)
			本郷人権文化センター	(☎0848・86・3333)
			大和人権文化センター	(☎0847・33・1308)
女性の人権相談	21日～23日を除く月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 法務局常設電話相談所(☎0570・003・110)	
子どもの人権相談		8時30分～17時15分	電話相談 女性の人権ホットライン(☎0570・070・810)	
交通事故・民事・家事相談		9時～17時	電話相談 子どもの人権110番(☎0120・007・110)	
暴力団関係相談			8時30分～17時	電話相談 県生活センター (☎082・223・8811)
登記相談		16日(水)	13時～16時	市役所本庁1階 登記証明コーナー
不動産相談	4日(金)・18日(金)	10時～15時	サン・シープラザ4階	社会福祉協議会 (☎0848・63・0570)
療育・教育相談	7日(月)・28日(月)	13時～16時	サン・シープラザ3階	
戦没者遺族相談	3日(木)・17日(木)			
行政相談	14日(月)			
水防・災害対策本部専用電話			(☎0848・67・6868☎0848・67・6164)	



▲名誉市民の村田兆治さんが目標に向かって努力する大切さを話しました。講演中は、参加者とキャッチボールや筋トレをする場面もあり、会場からは歓声が上がりました(7/23 生涯学習市民講座 リージョンプラザ)



▲見たことない生き物が入ってる！沼田川に生息する生き物を探取し、観察。生き物のすむ環境を守る大切さを学びました(8/2 親子水辺教室 本郷町船木)



いけすの隅に追いついたり、近づいてくるのを待ったり。すばしこく泳ぐアユをつかまえようと子どもたちは一生懸命でした(8/2 本郷沼田川あゆまつり 本郷町船木)



泥に足をとられながらもゴールを目指して走る。全身泥まみれになっても関係なし、次こそは点を取るぞ(8/2 ドロリンピック 大和町棕梨)



▲徳島阿波踊りや市内の各やっさ踊り団体が特別参加し、より一層祭りを盛り上げました(7/25 沼田本郷夏まつり 本郷支所周辺)



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所



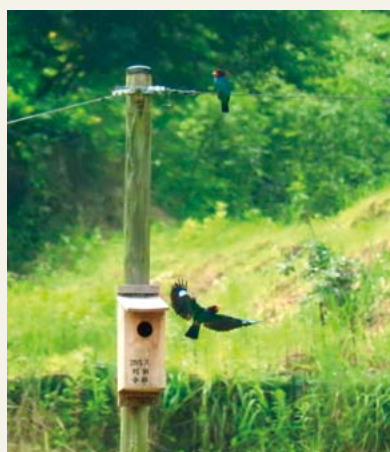
美しい女王滝を訪ねて
撮影者 優さん 撮影日 平成27年7月
撮影場所 本郷町上北方



梅雨明けの虹
撮影者 柴田道春さん 撮影日 平成27年7月
撮影場所 館町二丁目



茜雲
撮影者 西本貢さん 撮影日 平成27年6月
撮影場所 明神三丁目



八幡のブッポウソウ
撮影者 中野明さん 撮影日 平成27年6月
撮影場所 八幡町

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 10日(木)(必着)
応募資格 市内在住・在勤・在学の人
募集枚数 1人1枚
選考 総務広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真(L判サイズ)か写真データと、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務広報課(〒723-8601 港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲先月、東京・霞ヶ関の国土交通省で表彰されました

港湾ビルの1階にぎやかな一角があります。みはらまちづくり兔っ兔。焼きたてパンや手作り作品を目当てに、船待ち客や周辺の住民が訪れます。中心市街地のにぎわいづくりのため、駅前で活動していた兔っ兔が元は食堂だったこの場所に移転して来たのは8年前。四国と航路が結ばれ、三原港が本州の玄関口だった時代、多くの人が食堂を利用しました。しかし、航路廃止で客足が減り、閉鎖。ひと気がなく、さびしかった。代表の小川和子

国のみなとまちづくりマイスターに認定

さんは振り返ります。

移転を機に、港を拠点にしたまちづくりを開始。船を眺められるカフェ、島への観光客向けのレンタサイクル、港周辺の花壇整備、港や海に関連したイベントの開催など、市や観光協会と協力し、さまざまな取り組みを行ってきました。

成果が認められ、平成21年には国の「みなとオアシス」に登録。先月には、小川さんが港の魅力を生かしたまちづくりの担い手として「みなとまちづくりマイスター」に認定されました。「兔のように市民の声に耳を傾け、できることをやってきた結果」と喜びます。

今年で設立10年を迎える兔っ兔。「三原港は通学や通院、島巡りに使われる市民のための港。これからも身の丈に合った活動を続けたい」と、気持ちを新たにしています。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



特定非営利活動法人
みはらまちづくり兔っ兔
代表 小川和子さん
おがわかしこ



瀬戸内三原
築城450年事業

三原の光を観よう、 魅せよう。…… 5



「ふるさと三原」を次の世代へと伝えていく連載企画。県立広島大学三原キャンパスの学生と三原の歴史や文化を再発見していきます。



県立広島大学
理学療法学科2年
加藤智佳さん

船入櫓跡から 城跡を見るの巻

猛暑が続き、40回目のやつさ祭りを翌日に控えた取材日。

「やつさ踊りは、三原城築城を祝ってまちの人が踊ったことが始まりと言われています。」

「三原城は、駅の北側にあったんですよね」と加藤智佳さん。

「三原城は広くてここも昔は城だったんですよ。ほら、あそこ石垣が見えるでしょ。」

一緒に向かったのは城町の船入櫓跡。

「石垣の下部分が少し違うように見える…」と加藤さんの視線の先にあったのは岩礁。

あそこが島の名残ですね！
水の中には魚もいますよ！



「三原城は、小早川隆景が大島と小島をつないで建てたといわれていて、あの岩礁が当時は島だった証なんですよ。」
「島をつないでですか！」

「船入櫓跡には昭和天皇も来られたことがあるんですよ。」
「お城があったときに？いや、時代が違つか！」

「ここに浮城寮と呼ばれる宿泊施設があって、昭和22年に昭和天皇が三原を訪ねられた際に泊まりました。これがその時の写真です。」



昭和天皇の
訪問を祝う市民

浮城寮はちょうど
あの辺りかな？



「今度は船入櫓跡に行ってみましょう。」

「上に登れるんですか？」と驚いたようすの加藤さん。

理容院の横を曲がり進んでいく。緩い坂道を登るだけで、息が上がる広報チーム。加藤さんは、フエンシングをやっていただ

けあって軽いフットワーク。
門をくぐって



すぐの案内板。

「この櫓の先は海だったんですね」と加藤さん。

「さっき見た石垣は、干潮満潮に耐えることができるよう工夫してあるらしいですよ。」

「隆景さんは、ここから海を眺めたのかな。他に残っている石垣を探すのも楽しそう。」

隆景さん、
船入櫓跡から見えて
現代の景色は
こんな感じです



船入櫓跡の他にも駅前周辺には城跡がたくさん残っています。散歩しながら、見つけてみてはいかがでしょうか。



帰り際、聖トマス
小崎像のそばで
少し三原の勉強を

☎築城450年事業推進担当室

☎0848-610450

三原市の人口(7月31日現在)

世帯数	44,105 世帯 (+209)
人口	98,237 人 (-659)
男	46,951 人 (-294)
女	51,286 人 (-365)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

税などの納期(普通徴収)

○国民健康保険税(第3期)
○介護保険料(第3期)
○後期高齢者医療保険料(第3期)
納期限 9月30日(水)
夜間収納窓口(19時まで)
3日(木)・10日(木)・17日(木)・24日(木)

航空機の騒音測定結果(7月分) (Lden)

▶正広局(本郷町善入寺正広)=47.7 ▶本郷局(本郷町船木川西上)=52.3

あ・と・が・き
三原の夏の大イベント、やつさ祭りも無事終わりましたが、まだまだ暑い日が続いています▼特集にもある「高齢者虐待」という問題。誰しも、いかはやって来る「老い」ですが、若いうちはなかなか自分の事と思えず、相手の立場に立つて物事が考えにくいものです▼私も自分を置き換え、またお互いに相手を思いやる気持ちを忘れずに、みんなが気持ちよく暮らせる社会になるように心掛けていきます(H)